

パレット・レター

2018
July
No. 7

「タオルくまちゃん」をひらきました。
「内科検診」を隠しました。
「ホストクラブ会議」を開催しました。
「あったか子育てセミナー」を開催しました。



2018年7月3日発行

「あったか子育てセミナー」を開催します。

—— 子ども若者総合相談センター

本市では、すべての子ども達がその子らしく成長していけることを願って、平成20年から毎年「あったか子育てセミナー」を開催しています。

今年のテーマは、全国的にも増加傾向にある「不登校」についてです。本市でも、小学校では全生徒のうち0.4%が、中学校にいたっては、4%近い生徒が、病気や経済的な理由以外で学校に登校できていません。不登校の子どもへの正しい理解と適切な対応は急務です。

今回のセミナーでは、長年にわたり学生相談カウンセラーとして活躍され、現在も香川教育センターで支援者向け講座を担当されている、小柳晴生（おやなぎ・はるお）先生をお招きし、「不登校の子ども達への理解と対応について考える」と題し、講演をしていただきます。

参加を希望される方は、子ども若者総合相談センター（28・6266）までお申込みください。入場は無料です。多くの方の参加をお待ちしています。

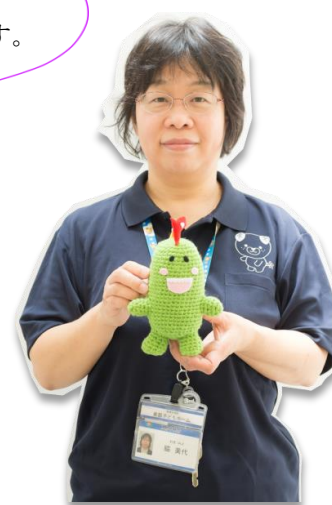
日時 ▼ 8月8日（水）午後7時～
場所 ▼ 福祉会館4階多目的ホール
題目 ▼ 不登校の子ども達への理解と対応について考える
講師 ▼ 小柳晴生氏
参加費 ▼ 無料
締切 ▼ 7月25日（水）
その他 ▼ 託児、手話通訳・要約筆記あります。

「パレットン」増殖中！

パレットンのぬいぐるみや置物を、職員やフリータイムの利用者が作ってくれました。

玄関ホールに展示していますので、是非ご覧ください。

壊れるおそれがあります。
手を触れないようにお願いします。



子ども若者発達支援センター会報

パレット・レター

- 発行 -

四国中央市子ども若者発達支援センター

TEL 0896-28-6029 FAX 0896-28-6030

palette@city.shikokuchuo.ehime.jp



カラー版のパレット・レターはこちらで
見いただけます



Palette公式フェ
イスブックはこ
ちら

Palette またはパレット・レターに関するお問合せは上記まで。

パレット・レターの表紙になってくれるお子さんを募集します。
ご協力いただける方は、Palette の職員または上記までご連絡ください。

「タオルくまさん」を作りました。

東部子どもホーム

Palette では、放課後等デイサービスの中で、交流やライフスキルの獲得などを目的とした「フリータイム」という居場所を提供しています。

今年度は、Palette のお隣りにある「ギフトショップみずず」さんのご協力により「ラッピング教室」を開催できることになりました。

第1回目の教室は、「タオルくまさんを作ろう!」の回でした。タオルくまさんは、1枚のハンドタオルからクマのぬいぐるみを作るというもので、みずずさんのイベントでも好評です。

当日は、みずずさんから2名の店員さんが講師として来てくださいました。



参加者たちが持参したお気に入りのハンドタオルでつくられたクマさんは、タオルの柄や頭身のバランス、またリボンやシールなどの飾りつけにより、可愛くバラエティに富んだものになりました。

クマのはずなのに、作る人によってはカエルみたいだったりサルみたいだったり、楽しい時間を過ごすことができました。講師の先生が作ったクマさんを玄関ホールに飾っていますのでご覧ください。

翌週のフリータイムでは、講師の先生に手作りのお礼状を渡しに行きました。みずずの皆さん、本当にありがとうございました。

「内科検診」をしました。

児童発達支援センター

児童発達支援センターでは、お子さんの健康管理のために嘱託医による内科健診を実施しています。

今年度1回目の内科健診には、8人のお子さんが受診されました。

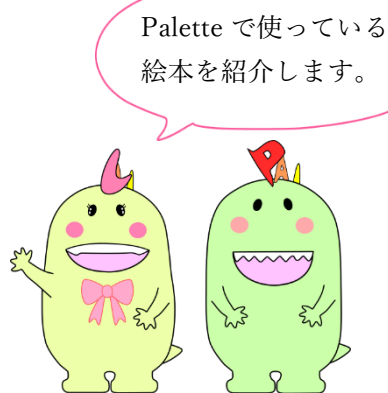


嘱託医
ふじえ だいきち
ファミリー
クリニック
藤枝俊之 院長

最近、胃腸炎やRSウイルス等、いろいろな感染症に季節を問わず感染することが増えてきています。いつもと様子が違うなどと思ったら早めに受診しましょう。また、最近便秘のお子さんが多く、長引くと排便時に痛みを伴うこともあり、さらに出しづらくなるという悪循環になります。逆に下痢をしている時も便秘が原因ということもあります。早めに医療機関に相談しましょう。

“かあかあ もうもう”

子どもたちが大好きなオノマトペ絵本です。どちらが上手に声を出せるか、カラスと牛が「かあかあ」「もうもう」やりとりをします。保育者が抑揚をつけて読む様子に大人も子どもも釘付け。真似をしながら楽しく見ている子どももいて、読み手も笑顔になる一冊です。



Palette で使っている絵本を紹介します。

「ネットワーク会議」を開催しました。

子ども若者総合相談センター

今年度1回目のネットワーク会議では、本市における課題の共有と、委員の連携強化などを目的に、グループワークを行いました。

「さまざまな困難を有する子ども若者の現状と課題について」をテーマに、21人の委員が4つのグループに分かれて意見を出し合いました。

参加した委員からは「顔と顔を合わせて意見を交換することにより、関係が深まった」「知らない分野の意見を聞き、大変参考になった」と好評でした。出された意見については、後日とりまとめ、個別のテーマを設けて集中的に検討していきます。



“ネットワーク会議”って？

社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対し、教育、福祉、保健・医療、更生保護、雇用等の関係機関が連携して円滑な支援を実施することを目的に組織された協議会です。法律上の名称は「子ども・若者支援地域協議会」ですが、本市ではその名称を「四国中央市子ども若者支援ネットワーク会議」としています。

子ども若者総合相談センターを調整機関（事務局）として、今年度は2回の本会議と、個別の案件について検討する「個別検討会」を開催します。